



## ● 「特進コース」の開設

順心女子学園は、専任教員と生徒との比率が「1対10数名」ですので、アメリカの現地校並みの“贅沢な学校”です。その面倒見の良さはもちろんですが、「できる生徒は、さらに鍛えて伸ばしていく」ことまで“pledge”している学校を、私は他で見たことがありません。

「特進コース」（国立大学や難関私立大学進学を目指す生徒の特別クラス）は、現地校や国際学校等で「トップ15%以内にいる生徒」を対象として編成します。また、「トップ7%以内の生徒」には「特待生」（原則として3年間、授業料の全額を免除）の制度もあります。

正直に申し上げて、「現地校や国際学校の現場で、どういう指導が行われているか」について、帰国生のお母様方がよくご存じないことに驚かされます。せっかく海外で身に付けた学力をさらに伸ばしたいとは思われませんか。是非、順心女子学園の「特進コース」にご期待ください。

## 【お知らせ】

海外入試を始めました！ 北米入試事務所では、編入試験（高校3年の夏まで）を随時受け付けています。詳しくは、32ページをご覧ください。

### 小山 和智

おやま かずとも

順心女子学園中学・高校 校長補佐



海外子女教育振興財団の外国語保持教室主任のほか、ジャカルタ日本人学校事務長、クアラランブール日本人学校国際交流ディレクター、啓明学園国際教育センター所長を歴任。現在は「グローバル化社会の教育研究会」の事務局長としても活躍中。

<http://www.toshima.ne.jp/~kyoiku/>

## 英語補習校だより（1）

### 開設の趣旨

2005年4月から、土曜公開講座「国際英語」がスタートしました。公立小学校に通う帰国児童・外国人児童のための「英語補習校」です。

世界各地の「日本語補習校」は、帰国に備えての日本語維持が主目的ですが、現地校等で英語を学習言語として活用できるまでの過程において、母語である日本語での学力を、ある程度保持し続けることも大切です。

ところが、日本においては帰国児童や外国人児童に対して、「日本語力の獲得のために大切な母語の学力保持」のことが、まったく省みられていません。そのため、どちらの言語・学力も中途半端なものになる危険性が、非常に高いのです。

順心女子学園の「英語補習校」は、それらの課題に 대응する一方、英語で思いきり話す機会を与えることで、慣れない学校生活へのストレスを解消させ、また学習への自信・意欲を回復させます。

午前中の「英語」「社会」の指導（2時間）に加え、9月からは「理科・算数」の指導（2時間、希望者のみ）も始まりました。現地校や国際学校で十分に学べなかった実験や観察、体験学習などを補習することにより、小学校での授業に当惑することがないようにします。

<http://www.toshima.ne.jp/~kyoiku/Eigo-Hoshuko-J.htm>

### 編集長から一言

順心女子学園の学校紹介のスタートです。

このシリーズでは、保護者やお子さん自身が、受験する学校を決めるために必要な情報を発信していただきます。

その情報は、学校のホームページやカタログ・パンフレットに書かれたことだけではなく、より子どもや保護者の立場に立った、詳しい情報です。海外子女・帰国子女教育の大ベテランである小山先生の発信に期待します。